

「初めての合同全校朝会・集会」

いまみや小中一貫校として、今日が第1回の合同全校朝会・集会となりました。コロナ禍の中、全校児童生徒がなかなか一か所に集まる機会がありませんでした。せっかくの小中一貫校なのにそれはとても残念なことですので、これからは毎月1回原則第3月曜日にはこうして、全校児童生徒が集まって、合同朝会・集会を開いていきたいと思います。中学生は小学生の見本となれるよう、小学生は中学生に迷惑をかけぬよう、それぞれしっかり校長先生あるいは副校長先生のお話をしっかりと聞いてください。

今日は校長先生のお話の番です。校長先生は先々週、1・2年生と一緒に鶴見緑地公園に遠足に行きました。先週は6年生と一緒に伊勢志摩方面に修学旅行に行きました。7月には5・6年生とハチ北高原に林間学習に行きました。5月には9年生と長野方面に修学旅行に行きました。又、中学生の部活動の試合や大会にも数多く行くことができました。

そこで共通していることは、新しい発見がたくさんあるということです。普段教室では見ることができない表情がたくさん見えた、友達にとても優しかったり、試合中の苦しい場面でとても頑張っていたり、とても物知りであったり、思いがけずおしゃべりであったり、普段学校で見ているときには想像できない面がたくさん見ることができます。そしてそれはとてもうれしいですし、微笑ましいことです。

今、お話ししたように人にはいろんな顔、いろんな面があり、一つだけではありません。あなたたちは将来にわたっていろんな人と出会っていきます。一つの面だけで簡単にこれから出会うであろう友達や仲間を決めつけしまわないようにしてください。それは友達にもあなたにとっても、とても損なことだと思います。友達や仲間のいろいろな顔や面に気が付けるような、アンテナを高く伸ばせる人を目指してくださいね。

校長先生からのお願いです。